



Cisco UCS X440p PCIe ノードのインストール

この章では、次の事項について説明します。

- [インストールガイドと制限事項](#) (1 ページ)
- [PCIe ノード コンパニオン モジュール](#) (3 ページ)
- [Cisco UCS X440p PCIe ノードの交換](#) (4 ページ)
- [PCIe ノード構成](#) (7 ページ)

インストールガイドと制限事項

Cisco UCS X440p PCIe ノードを取り付けるときは、次のガイドラインと制限に注意してください。

- Cisco UCS X440p PCIe ノードは、Cisco UCS X9508 シャーシでのみサポートされています。他の UCS サーバー シャーシに PCIe ノードを取り付けしないでください。
- 取り外しまたは挿入手順を実行する前に、コンパニオン コンピューティング ノード ホストの電源をオフにする必要があります。ホストがオンのときの PCIe ノードのホットリムーブまたは挿入はサポートされていません。
- 各 PCIe ノードは X シリーズ コンピューティング ノードとペアにする必要があるため、特定の構成があります。次の構成はいずれもサポートされていません。特に、展開時にコンピューティング ノードと PCIe ノードを削除およびインストールする場合は、これらの構成に注意してください。

図 1: サポートされている構成、初期スロットのコンピューティングノード

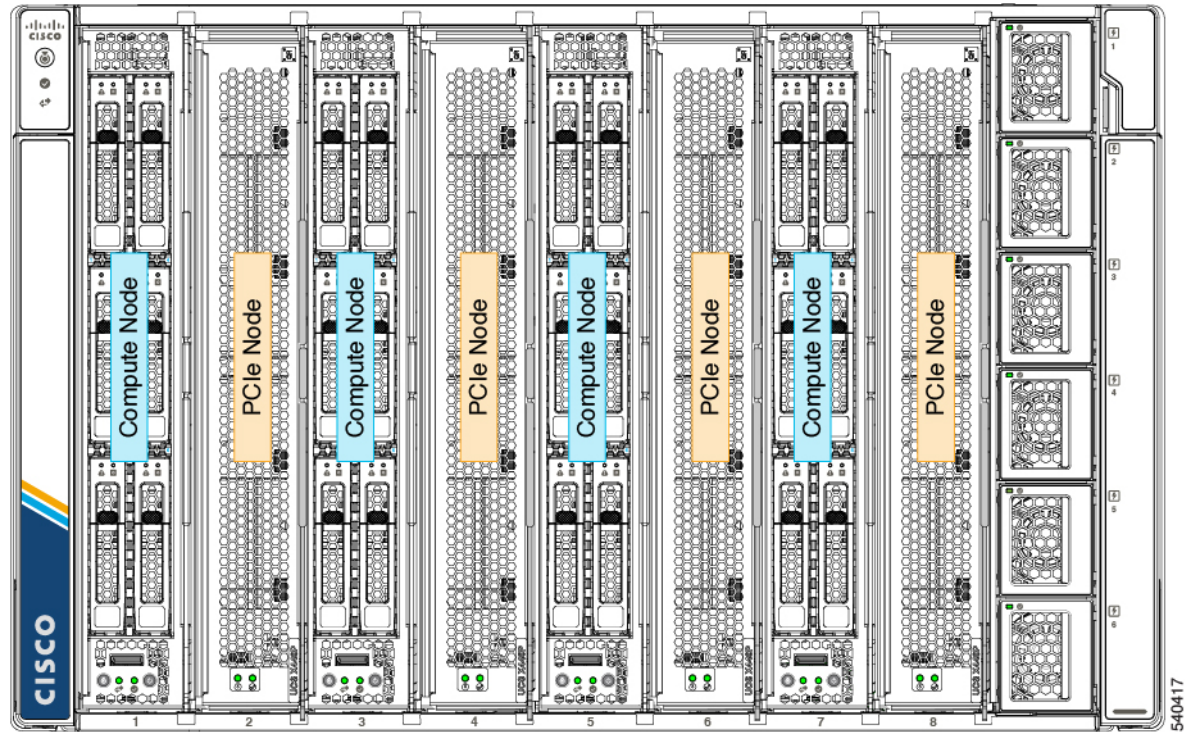
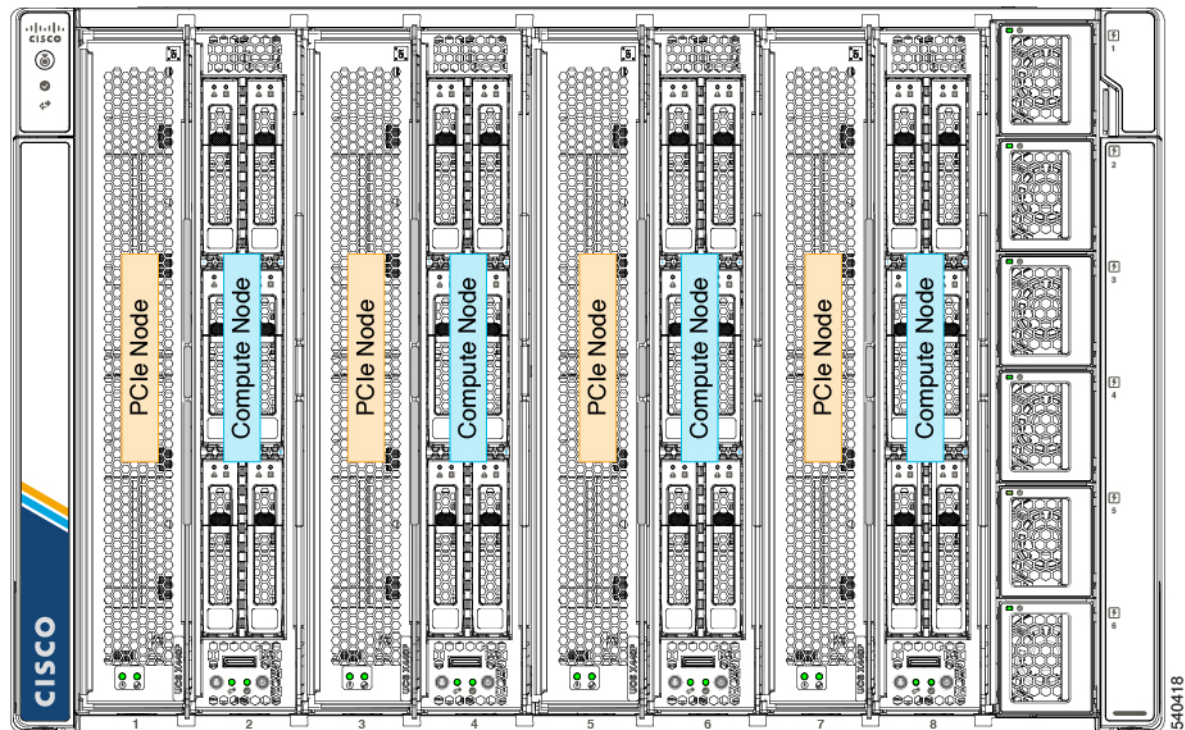


図 2: サポートされている構成、初期スロットの PCIe ノード



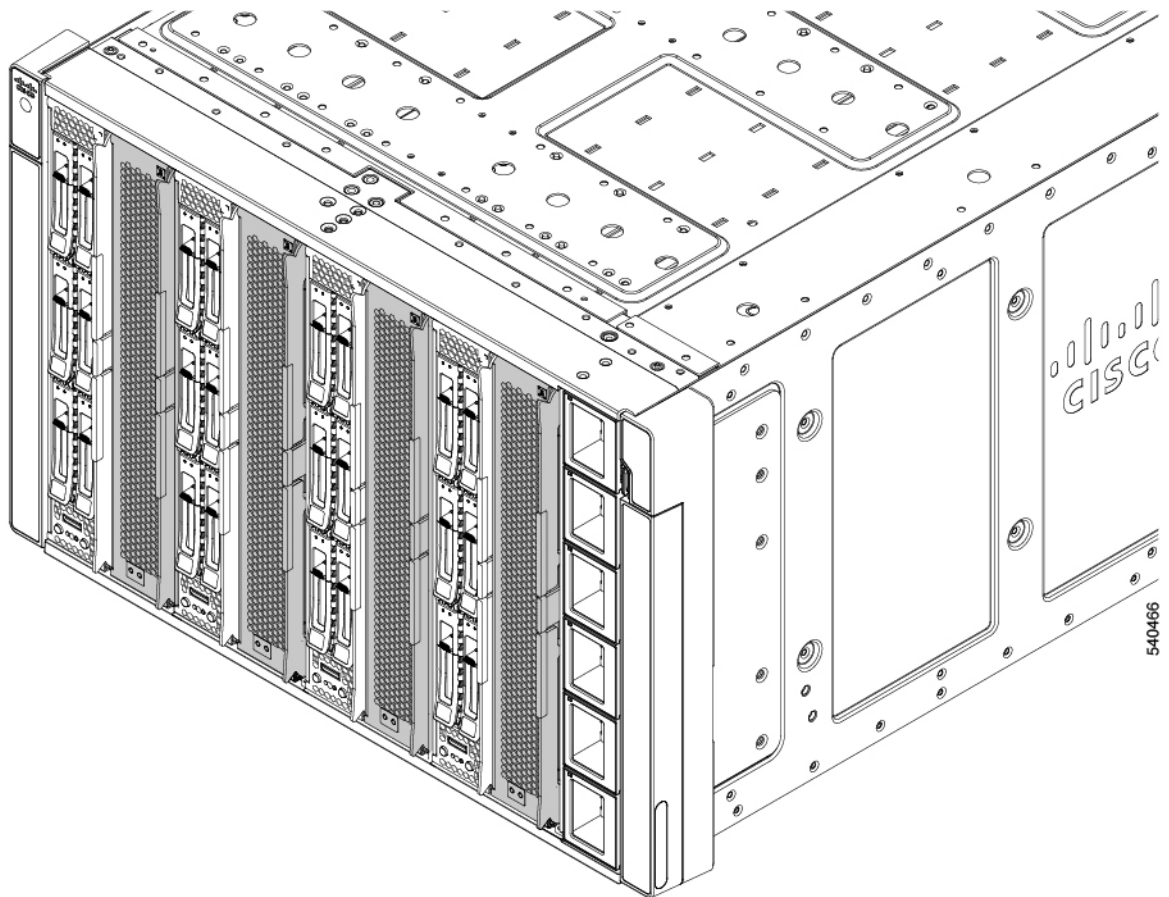
PCIe ノード コンパニオン モジュール

PCIe ノードは、コンピューティングノードとペアでインストールする必要があります。モジュールとノードが連携して、コンピューティングと GPU 処理の高速化を実現します。

PCIe ノードを取り付け、交換、またはアップグレードするときは、Cisco UCS X210c コンピューティングノードなどのサポートされているコンパニオンモジュールに隣接して取り付けてください。



- (注) Cisco X-Fabric ソリューションは、PCIe ノードが必要ない場合、スロットの使用を制限または制限しません。コンピューティングノードは、PCIe ノードが使用されていない任意のスロットに制限なく取り付けることができます。



Cisco UCS X440p PCIe ノードの交換

Cisco UCS X440p PCIe ノードは、ツール不要、現場で交換可能なハードウェアです。ノードの統合イジェクタを使用して、ノードを取り付けたり取り外したりできます。



注意 ホストがオンのときは、PCIe ノードのホットスワップはサポートされません。PCIe ノードを取り外したり挿入したりする前に、ペアになっているコンピューティングノードの電源を切る必要があります。

PCIe ノードを交換するには、次の手順に従います。

- [インストールガイドと制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [PCIe ノードの取り外し \(4 ページ\)](#)
- [PCIe ノードの取り付け \(5 ページ\)](#)

PCIe ノードの取り外し

このタスクを使用して、シャーシから PCIe ノードを取り外します。

始める前に

ノードのイジェクタを使用して、シャーシの前面から各 PCIe ノードを直接取り外すことができます。ノードを削除するためのツールは必要ありません。



(注) PCIe ノードは重い場合があります。モジュールを取り外すときは、もう一方の手でモジュールを支えます。



注意 Cisco UCS X440p PCIe ノード自体はホットスワップ可能ですが、PCIe ノードをホットスワップする前に、ペアになっているコンピューティングノードの電源を切る必要があります。

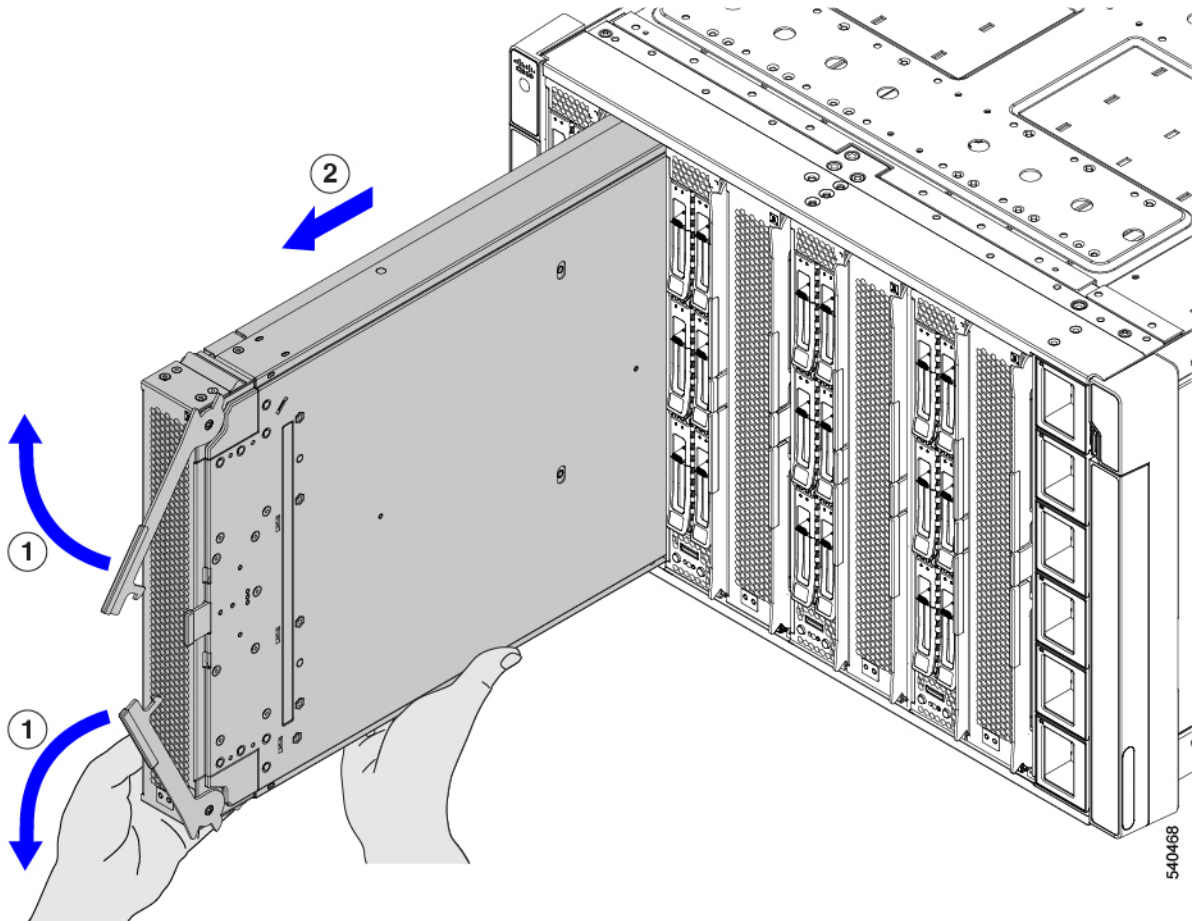
ステップ 1 まだ行っていない場合は、Cisco 管理ソフトウェア（たとえば、Cisco IMM）を使用して、PCIe ノードとペアになっているコンピューティングノードの電源を切ります。

ステップ 2 ペアになっているコンピューティングノードの電源が完全にオフになったら、2つのイジェクタの間にある PCIe ノードのイジェクタ ボタンを押して、板金からイジェクタを外します。

イジェクタ ボタンを押すと、イジェクタ ハンドルがノードの表面からわずかに飛び出します。

ステップ 3 各イジェクタを垂直に静かに振り、PCIe ノードをサーバーから外します。

ステップ 4 片手で PCIe ノードを支え、ノードを手前に引いて、サーバー シャーシから引き出します。



次のタスク

PCIe ノードを再挿入します。「[PCIe ノードの取り付け \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

PCIe ノードの取り付け

PCIe ノードを取り付けるには、次の作業を実行します。



注意 PCIe ノードを挿入する前に、ペアになっているコンピューティングノードの電源がオフになっていることを確認してください。

始める前に

PCIe ノードは工具不要のモジュールであり、イジェクタを介してシャーシに取り付けて固定します。

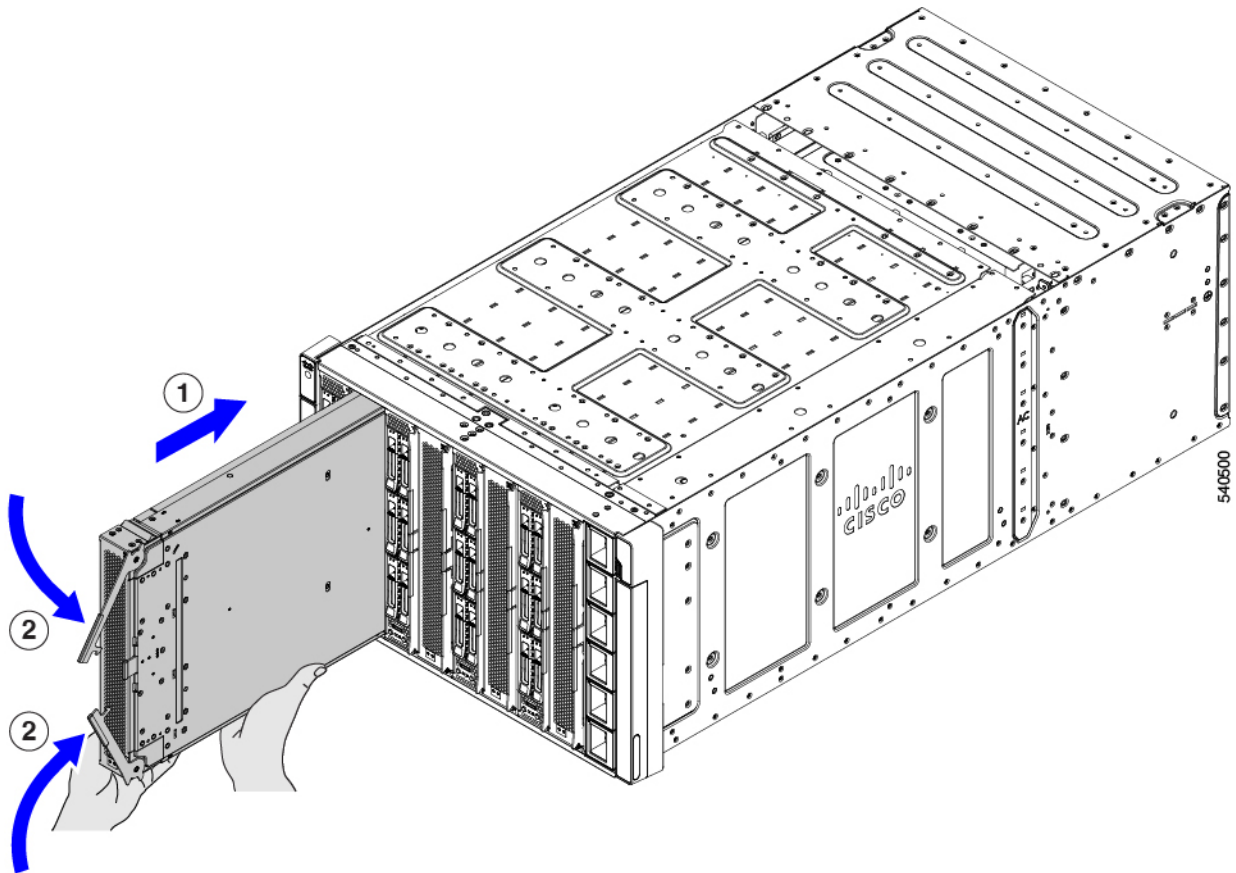
ステップ 1 イジェクタがスロットの右側の垂直側に来るように、PCIe ノードの向きと位置を合わせます。

ステップ 2 片手で PCIe ノードを支え、ノードの高さを持ち、シャーシスロットにスライドさせます。

ノードがスロットにほぼ完全に挿入されると、抵抗を感じるかもしれません。この抵抗は正常です。これは、シャーシの内側にあるソケットと一致するモジュールの背面のコネクタから来ています。

ステップ 3 前面プレートの両端を押してモジュールを装着し、イジェクタを内側に押し、ノードをスロットに固定します。

イジェクタが所定の位置にカチッと収まり、ノードの前面プレートと面一になると、ノードは完全に装着されます。



ステップ 4 Cisco Intersight マネージドモード (IMM) などのシスコ管理ソフトウェアを使用して、PCIe ノードのペアになっているコンピューティングノードの電源を入れます。

ステップ 5 ペアになったコンピューティングノードの電源が完全にオンになったら、Cisco Intersight マネージド モード (IMM) などのシスコの管理ソフトウェアを使用して、PCIe ノードを再検出します。

PCIe ノード構成

Cisco UCS X440p PCIe ノードは、Intersight 管理モード (Cisco Intersight 管理モード) の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して構成し、管理できます。詳細については、『*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide*』を参照してください。次のサイトからアクセス可能です。[Cisco Intersight 管理モード構成ガイド](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。